

か わ ち 南種子町河内の貝化石層

【所 在 地】熊毛郡南種子町中之上 604番1, 639番1, 659番1のそれぞれ一部

【種 別】県指定天然記念物

【指定年月日】平成23年4月19日



貝化石層平面



貝化石層

平成15年7月に南種子町河内の道路工事現場で発見された茎永層群河内層の化石層は、規模の大きさと良好な保存状態から南種子町指定文化財に指定されており、種子島の地形、琉球列島の生い立ちを知る上で貴重な文化財である。

茎永層群は中部から上部にかけて保存の良い貝類化石などを多産し、堆積構造が良く保存されていることから、当時の堆積環境を現地で学ぶことのできる生きた教材（文化遺産）として活用することができる。

河内層の貝化石層は、当時、この種子島から南に広大な内湾干潟が存在したことを示している。さらに河内層の露頭からイシガメ類、スッポン類化石も見つかったことは、中新世中期には大陸の縁辺部であった可能性を示唆し、琉球列島の成り立ちを考える上で重要である。